

市民活動状況
(3月末日現在)

市内NPO法人数	29 団体
当センター登録団体数	151 団体
来館者数	1, 243人
印刷機利用枚数	12, 530枚

ひびき



発行枚数 500枚

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 島村宏之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
 会議スペース・市民交流サロン・作業スペース・印刷機・紙折り機・多目的室等(1階)や
 大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)がご利用いただけます。
 開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。
 休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日
 〒301-0004 龍ヶ崎市駒馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571
 E-mail center@ryugasaki-shiminkatsudo.net URL https://ryugasaki-shiminkatsudo.net



市民団体活動紹介シリーズ No.55「龍ヶ崎篆刻の会」

目指せ！市民活動日本一

龍ヶ崎篆刻の会は、毎月第3木曜日(午前中)に当センター多目的室で定例会を開催し、作品作り、テーマ作り、意見交換などを行っています。

現在の会員は6名。篆刻のみならず刻字、写刻を行う会員もおります。全会員が師匠となり弟子となり、意見と知恵を出し合い、切磋琢磨して技量の向上を図っています。

篆刻は石に刻する「書」の一分野です。主に四字熟語や論語、漢詩、般若心経などの長短文を石に刻し、印泥を付け半紙等に押印して篆刻作品としています。姓名印や雅号印は篆刻作品、墨書、色紙、水墨画などの「落款印」として使用します。

また、写刻は書道作品を木板や竹などに写し刻むことで、百寿図、百福図、句額などのほか、般若心経その他仏経典を刻しています。

例年春、秋の文化祭には会員の作品を出展しています。文化祭終了後は市民活動センターの常設ブースにも展示し、翌年にはそれ等の作品集「龍篆」を作成しています。

連絡先090-4122-4445 加藤



「高校生スマホサポーターによるシニアのためのスマホ講座アゲイン」報告

3月22日(土)龍ヶ崎みらい会議プレゼンツ「高校生スマホサポーターによるシニアのためのスマホ講座 アゲイン」をセンター大会議室にて開催しました。

この講座は、昨年の12月7日に行われたスマホ講座が好評でしたので、またやって欲しいという受講者の声に応える形で開催しました。

講師は前回同様市民活動センター企画アドバイザー植竹智央氏。サポーターも前回と同じく龍ヶ崎二高の生徒8名+OBの瀧澤日菜乃さんでした。

参加者は23名。Androidが3テーブルとiPhoneが1テーブルの4グループに分かれての学習となりました。高齢者は手軽なAndroidを選ぶ方が多いようです。

講座の内容は字の大きさと明るさの変更方法や、ライトの付け方、マップの見方、Webの検索、画像検索、QRコードの読み取り方など、スマホの基本的かつ便利な操作を反復しながら学習しました。

植竹氏の冗談を交えての講義は面白く、また高校生の皆さんが手取り足取りのフォローで、参加された皆さまは楽しく学習することが出来ました。

龍ヶ崎二高の生徒の皆さまありがとうございました。



令和7年度利用者アンケート、ありがとうございました！ 結果をお知らせします
 今回も多くの方々にアンケートのご協力をいただき、感謝します。アンケートに記載されている利用者の要望については4月26日(日)に開催された「市民活動団体交流会」での意見交換を踏まえて、活動センターとしてできることを対応していきたいと考えています。

利用者の年齢構成

利用者で1番多かったのが70代で47%、次が60代で20%、合わせて67%です。80代の19%を加えると86%となり、高齢者の利用率が高いのが特徴です。次に多かったのは50代で6%、40代が3%、30代が2%、20代が1%となっています。

職業

一番多いのが無職で39%、次に主婦28%。退職された方々や子供たちが巣立った年代の主婦が第2のステージとしてボランティア活動や趣味の世界を楽しみに活動されている状況です。次に多かったのは会社員で10%、パート・アルバイト、自営業、公務員合わせて14%占めています。学生は1%でした。

利用満足度

施設全体の満足度は大変満足とやや満足合わせて75%あります。職員・スタッフの対応についての満足度は合わせて81%。施設の清潔さについての満足度は合わせて76%です。施設・サービス内容については合わせて69%です。

広報誌「ひびき」、活動センターホームページ

広報誌「ひびき」については、たまに見るが31%、よく見るが16%、合わせて47%で5割の方に読まれています。ホームページについては3年前に全面リニューアルし、スマホでも見やすい画面構成になり利用しやすくなっていますが、残念ながら、たまに見る20%、よく見る5%、合わせて25%と昨年より2%微増ですが、見ない41%、あまり見ない25%合わせて66%の方が見ていない状況です。今後、スマホでのHP利用の利便性をもっとPRする必要があります。

動画サイトYouTube(ホームページ内)、公式Facebook、公式X(Twitter)、公式Instagram

動画サイトYouTubeはたまに見る8%、よく見る2%、合わせて10%、公式Facebookもたまに見る9%、よく見る2%合わせて11%と低いです。昨年度から始めた公式X(Twitter)は合わせて6%、公式Instagramは7%と低いです。若い方々に見ただけなので、今後も力を入れて発信していきたいと考えています。

団体の活動を進めていく上での課題

「会員の確保」が一番多く、26%です。その次に「特になし」が14%、「人材の育成」が11%、「活動する場所の確保」が10%「会の運営」と「資金の確保」が共に8%を占めています。やはり、市民活動を継続していくには会員の確保が最も大きな課題となっています。

市民活動センターの利用頻度

月に数回が48%と一番多く、次は年に数回が21%、週1～2回が13%でした。

夜間利用(17時～22時)について

「夜間利用したことがない」は80%と多くを占め、「夜間利用したことがある」は5%と割合は低いです。一定の需要があることが分かります。

センターの管理・運営について

開催してほしい講座やセンターへ要望やご意見

様々なご意見・ご要望を頂きました。詳細は活動センターホームページで公開しますので、ご覧ください。

講座のご案内

腸内環境シリーズ第3弾！

健康づくり講座

腸内環境と元気な体づくり～人生100年時代の『腸活』のすすめ

「知る・気づく・実践する」をテーマに、講義とワークショップを組み合わせた参加型の内容を予定しております。

- ・日時: 令和8年5月31日(日)午後1時30分～午後3時30分
- ・場所: 2階 大会議室
- ・講師: 千葉大学予防医学センター特任研究員、医学博士 原 千里氏
(管理栄養士 フードスペシャリスト)
- ・定員: 25名
- ・申し込み: センター窓口、電話0297-63-0030
- ・受付: 5月9日(土)午前9時から

〇龍ヶ崎短歌会

偏食の孫はばあばのみそ汁は おいしい」と娘に言ったと聞きぬ

放牧場の広き空地にわが植えし河津桜は大地を覆う

〇龍ヶ崎コミュニケーションハウス俳句講座

川のぼる魚の大群風光る

二期作の水面輝く遍路道

松原利子

嶋岡よしみ

吉田 綾子

皆川 孝子

